



TAC 地方上級・国家一般職 総合本科生
真相 紗綾さん(22歳)

合格:国家一般職(行政四国)・徳島県大卒程度(行政事務)・裁判所一般職大卒程度(高松高裁管轄区域)・吉野川市上級行政(A方式)・国立大学法人(中国・四国地区事務)

採用:国家一般職(行政四国)

【TAC 徳島校の良かったところ】

1. 面接対策が充実しているところ
試験種ごとに、傾向や対策方法を教えていただける。過去の先輩方が作成した、膨大な復元シートから、自分なりの想定問答を考えることができ、職種研究の際に役に立った。
2. 些細なことでも、相談しやすい環境が整っているところ
私は、他の試験種も併願していたため、一次試験を受験するに際し、専門試験で選択する科目や、自分の勉強の進捗状況について、担任の先生に相談させていただいた。
3. 担任の先生をはじめ、スタッフの皆さんの対応が丁寧なところ
入校や学習相談を始め、自分の状況に応じて、適切なアドバイスをいただいた。試験直前期に入り、気分が落ち込んでいるときでも、前向きな言葉をかけていただき、乗り切ることができた。

【面接・集団討論など二次・三次対策】

1. 普段から、志望試験種についての情報収集を行う

大学 3 年時から、一次試験の勉強と並行して、新聞の購読や HP の閲覧などで情報収集を行っていた。志望先を訪れて、職員の方が働いている様子を拝見し、採用パンフレットに目を通した。

2. 徳島校の模擬面接講義に、必ず出席する

島野先生から、自分の対応について、損得勘定なしの、客観的な視点での評価をいただける。また、試験の傾向についても、詳しく説明していただけるため、必ず受講した方がよい。

他の合格者と同じ教室で、面接の練習を行うため、周りの受験生の取り組みの様子を知ることができる。良いと思った部分は、積極的に模倣するようにしていた。

【TAC を選んだ理由】

1. 自分のペースで勉強ができるから

Web スクールも活用することで、自宅からでも、講義を視聴することが可能である。時間や場所の制限を受けることなく、学習ができるので便利である。

2. 合格実績が良いから

国家公務員・地方公務員を問わず、最終合格者数が多く、信頼できると感じたから。

【学習期間や一日の学習時間と、筆記試験対策】

大学 3 年 5 月下旬 TAC 徳島校入校「平日:6 時間 休日:8 時間」

〈年末まで〉・一般知識系科目以外の科目の講義を受講(講義は、なるべく午前中に視聴)

午後は、講義実況中継である教材の、講義ノートの読み込みや、V 問題集の基本問題の演習に時間を使った。

〈年明けから大学 4 年 6 月まで〉・自然科学は、毎日 5 問ずつ解く。人文科学は、就寝前に、講義ノートを復習していた。

・数的処理 過去問特訓セミナー受講(国家一般職)

「直前期は 8 時間 多い日で 10 時間」試験当日を意識するために、午前中は教養科目、午後は専門科目の勉強をした。

【TAC でおすすめの勉強方法や教材、効果的な学習法】

・ V 問題集を何度も解き直すこと

講義視聴後、頻出度 A の問題を解く→徐々に難易度を上げていく

数的処理は毎日最低 5 問、文章理解は、現代文を 2 問、英文を 1 問解いていた

〈直前期〉 数的処理 頻出分野の問題を抽出し、時間を計測して解く←10年分の過去問(オプション講座)

憲法・民法・行政法は、毎日10問ずつ解いていた(特に、民法は苦手科目であったため、正答率が80%以上の問題を解く)

政治学と行政学は、2日に1回、問題演習を行った

○ V問題集は、最低でも3周は解いた

○ 数的処理と法律・経済科目は、5周以上解いた

【受験動機】

国民の皆様の、ライフステージに密着した業務を行うことにより、安全な社会の実現に資することができるという点に魅力を感じ、志望した。

【今回の最終合格・内定の決め手】

1. 一次試験に向けての、日々の努力

捨てる科目を作らずに力を入れて学習する科目と、講義ノートの復習に留める科目を分類したことで、勉強の負担を減らすようにした。また、自分が公務員として働く姿をイメージしながら、苦しい時も継続して勉強を行った。

2. 業界研究を怠らなかったこと

庁舎を訪れたり、志望官庁の情報収集をする中で、その官庁の魅力を知ることができた他、面接試験時の話題の一つとして活用できた。

【この合格体験記のタイトル】

周囲の人に支えられて得た合格

【これから受験される方へアドバイス】

公務員試験は、長丁場の戦いになります。試験勉強を開始した当初は、学習する内容の多さに驚くこともあるかと思います。しかし、毎日少しずつ継続して、学習を続けていくことで、ゆっくりではあるものの力を身につけることができると思います。

悩みがある時は、周りの方に相談をしたり、友人と勉強会をしたりして、息抜きを行うことも大切だと思います。焦らず、自分のペースで最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

【最後に一言】

公務員試験を受験し終えて、本当に長かったというのが、正直な感想です。私は、幅広い試験種を受験し、5月上旬から、7月上旬までは、合格できるという前向きな気持ちと、不安が、交互に押し寄せていました。

しかし、このような時期を乗り越えられたのは、周りの友人や家族、TACの先生方のお陰です。気分が落ち込みそうになった時に、話を聞いてくれたり、食事会に誘ってくれたり、周りの方々のサポートがあったからこそ、試験を最後まで乗り切れたと思っています。

本当にありがとうございました。